

ひとりだち



学校だより取組号
令和6年9月6日
岐阜県立飛騨特別支援学校

2学期が始まりました。今年は、猛暑を通り越して酷暑とでもいうような暑い日が続きましたが、学校以外の場所で活動したり家族の方と出かけたりして、楽しく充実した時を過ごし、2学期に向かうエネルギーが充電できたのではないのでしょうか。
さて、今年度当校では、「教育活動の周知」「地域とのつながり」「キャリア教育」の3点を重点項目として取り組んでいます。1学期、夏休み中の取組や今後の計画についてお知らせします。

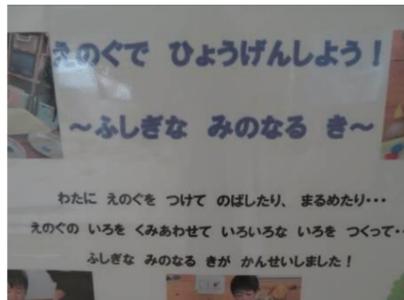
教育活動の周知



<山田キャンパス生徒の作業学習体験>
中学部との交流をきっかけに、高校生が中学部の作業学習を体験しました。その難しさに驚く高校生も多く、中学部生徒がコツを伝える場面もありました。



<作品展のPR展示>
作品展・写真展について、多くの方に興味をもっていただけるよう、今年度より大勢の方が訪れる「ルビットタウン」で作品展のPRを行っています。



<学習活動の説明>
作品展等では、作品や写真をただ見ていただくだけではなく、どういう活動をしたかどんな頑張りがあったかを知っていただけるよう工夫しています。



<教材教具展>
当校の教員が作った、普段の授業で使っている教材を、夏休みの間展示しました。地域の小中学校の先生方へも案内をしました。当校の学習について知っていただくとともに、個々に応じた支援について知っていただき、当校の教員同士や地域の小中学校の先生方の専門性を高める事にもつながると思っております。



<教育活動の周知>

多くの方に教育活動を知っていただく機会を大切にしています。今年度は、高校の校長先生、高山市主任児童委員、上宝地区民生児童委員協議会の方々等が学校見学をされる機会を設けました。



<やる!やる!マーケットPR>

販売する前に、お客さんに向けて作業班ごとに学習の取組や製品の特長について、自分たちで大勢のお客さんに伝えました。



<全校高等学校総合文化祭に参加>

モザイクアートの作品展示、作業製品の販売、文化音楽部の箏の演奏を行い、良い経験を積むことができました。

※今後、高山市児童館職員の方、福祉事業所職員の方、市議会議員の方等の学校見学を予定しています。作品展・写真展では、従来の場所に加え、新たににぎわい交流館(大政)でも作品展を行います。また、今年度から、地域の文化祭への文化音楽部の参加も計画しています。学校の取組をホームページを通じて発信していきます。ぜひご覧ください。

地域とのつながり



<小学部 おはなしの会>

ボランティアグループ「ことだま」さんに来ていただいています。絵本の読み聞かせを通して、抱いた気持ちや興味をもったことを伝えています。



<中学部 やんさ講習会>

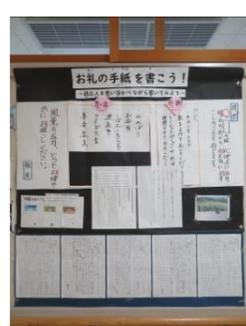
「べたべた踊り保存会」の方々に教えていただきました。自信をもって地域の夏祭りや踊ってほしい、とのお話もありました。



<フレンドリースクール>

多くの地域の高校生30名がボランティアとして参加し、楽しい雰囲気の中自然な関わりがありました。

<お礼状を書こう>



校外学習でお世話になった方に自分たちでお礼状を書きました。季節の挨拶やお礼状にふさわしい言葉選び、文の構成等を学んだうえで書きました。驚くほどの丁寧な文字が、「ありがとう」の強い気持ちを表しています。



<地域の役に立つ清掃活動>

高等部ビルクリーニング班が山田町公民館の清掃を行いました。いつもとは違う場所で技術を高めることも大切ですが、地域の役に立つ場にもなっています。



<高等部 地域イベントにボランティア参加>

地域の小学生対象のイベントで、当校が会場となりました。高等部生徒が木工作業の知識や技術をもとにアドバイスしました。



<PTA 活動でつながる>

活動の準備などを通して、保護者さん同士がいろいろな話をし、つながることも大切ですね。

<イベントや施設の紹介>

高山市等で行われるイベントや新しい施設の案内が学校に届くことがあります。配付するだけでなく、コメントを添えて児童生徒が関心をもてるよう掲示をしています。地域での生活が充実するよう、今後もお知らせしていきたいと思っております。ご活用ください。



※今後、居住地交流において直接交流や作品・手紙等をやり取りしたり、校外学習で地域の施設や公共交通機関を利用したりして、児童生徒の体験を積み重ねるとともに地域とのつながりを図っていきます。また、地域で行われる文化祭において、作品展や高等部文化音楽部の発表等も計画しています。

キャリア教育

取扱注意（個人情報）

キャリア教育では、「人間関係形成能力（様々な人とコミュニケーションをとりながら、協力・協働して物事に取り組む力）」「情報活用能力（情報を収集しているいろいろな職業や生き方があることを知り、働くことについて理解する力）」「将来設計能力（仕事や役割の必要性がわかり、決まりやルールを守ろうとする力）」「意思決定能力（好きなものややりたいことを選んだり、自分のことは自分で行おうとしたりする力）」を高めていきます。今年度は、全校の児童生徒の関わりを増やし、様々な人と一緒に活動する場を増やし、様々な人間関係の中で4つの能力を育てる取組をしています。

<授業等での取組>

<小学部 お店屋さんで役割を果たす>



おすすめの商品を探ねられて、メニュー表にのっている写真を指差しするという方法で伝えています。

<中学部 人の役に立つ仕事を考える>



普段自分たちがやっていることが、人の役に立つ、なくてはならない仕事だと学びました。

<全校 児童生徒会役員認証式>



全校の前で認証状を受け取りました。誇らしさと「がんばるぞ」の気持ちがわき、各部署で任されている役割も積極的に行っています。

<中学部 体力向上貯筋ラン>



一日働くためには大切な体力。毎日の生活の中で「筋力の貯金」を目指しています。

全校 レクリエーション



全校の関わりとして今年度から始めました。小さな児童のことを考えたり、中高等部の生徒の素敵な姿をまねたりする中で学びがあります。

コミュニケーションの基本 全校あいさつ運動



高等部のMSリーダーのかっこいい姿を見て、「自分たちも」と小学部児童があいさつ運動に参加しました。



<中学部 タブレットを使って情報活用>
地域にどんな施設があるか、そこはどんな場所かを、タブレットから情報収集しまとめしています。



<高等部 事業所の見学・体験>
1年生が、色々な事業所を知るために、先輩が実習する事業所の見学と、作業の体験を行いました。



<専門家による携帯電話安心安全利用研修>
高等部では、携帯電話を安全に使用するための授業として、専門家を招き話を聞きました。

<中学部・高等部「はたらく」に向けた取組>

中学部や高等部では、総合的な学習（探求）の時間や作業学習の時間を通して、社会に出てはたらくことについて、見学したり実際に体験したりして自分のこととして考え、学習を深めています。会社での真剣な作業風景を見たり質問したりすること、一定の時間自分の役割に真剣に取り組んだり報告したりすること、実際の現場で事業所の方と同じ環境で働く体験をしています。その中で、ルールや約束を守る大切さ、自分に合っている仕事は何か、自分の思いを伝える事の必要性等を考え、行動に移していくことで、自分らしく働くための基礎的な力を高めています。また現場から評価をいただき、自分の課題や今後の目標を考えます。



<中学部 職場見学>



<中学部 校内作業実習>



<高等部 校内作業実習>



<高等部 現場実習>

※紹介した以外にも、小・中学部の児童生徒が高等部の作業学習を見学したり、高等部生徒がやるやるマーケットの前に作業製品について説明をしたりする機会をもちました。また、高等部では、生徒の思いを聞きながら個別の教育支援計画を作成しています。今後も全校児童生徒が関わる機会を作る中で、協力したり、役割を果たしたりルールを守ったり、豊かな人間関係を築いたりできるように考えていきます。

職員研修等

※下記以外にも、夏休み中に体罰防止のためのスクールカウンセラー研修や聴覚学習会、障がい者生活・就労支援センターと連携して就労支援の研修、また本校の教員が講師となって自主研修等を行いました。今後は、9月18日には、授業づくりや支援についての全校研究会を行います。また、高山市福祉サービス公社と連携し講師として来ていただき、PTA 研修会を行ったり、PTA 皆さんのつながりづくりとして学部懇談会を設けたりしていきます。



人権研修
LGBTの方の話から多様性に気づき思いを聞くことの大切さを学びました。

<特別支援教育講座> 知的障がい教育の授業づくり



<聴覚学習会>
聴覚障がい児支援の飛騨地域のセンター校として、夏休み中に3回の学習会を開催しました。



<働き方改革>

給食の二次調理や教材づくり、校舎の清掃など、専門のスタッフと業務の分担をしています。教員の業務の整理だけでなく、子どもたちのつながりを広げます。

<虐待対応訓練> (子ども相談センターとの連携)



<専門家による研修>



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、摂食嚥下認定看護師等専門家の方に児童生徒の様子を見ていただき、学校生活で取り入れると良い活動や気を付けること等アドバイスをいただいています。



<学校運営協議会>

様々な立場の方に参加いただき、学校代より良くするための会議を行っています。